

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターあゆむ いいで (保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年1月24日		～ 令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和7年1月24日		～ 令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月24日		～ 令和7年2月7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	9件	(回答数) 9件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先との情報共有を、適切に丁寧に実施している。	・児童や生徒の強みを伸ばし、そうでない面についても代弁や思いを言葉に乗せて対応していく。	・今後も自事業所で確認できる児童・生徒の動向や状況について、訪問先にて活用していただけるように提供する。
2	・訪問先での状況を、保護者に適切に情報提供している。	・文書だけではなく、写真等も活用し情報を提供している。	・保護者がなかなかみることのできない場面のため、とても喜ばれている。継続する。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援事業の目的や意味あいについて、正しく伝わっていない訪問先がある。	年度当初説明を実施しているが、認知度が低い訪問先も多い。	・年度初めだけではなく、年に数回主旨説明をして、訪問先の教職員全員の周知を図ってもらう。
2	・保育所等訪問支援ガイドラインの周知が適切にできていない。	・必要な部門や訪問先にも周知をしていく。	・周知にはまだまだ時間を要すが、根気よく説明し理解を求める。
3			